

剣の合気



創立50周年記念演武大会

合気道川越道場

創立45周年

入間幸武館道場

創設30周年記念行事開催

志木合気会

20周年行事

日高市合気道同好会

第6回さいたま市合気道市民大会

さいたま市合気道連盟理事長

道場紹介

新郷合気会

一期一会

合気道川島町同好会

彩のなでしこ

合気道修練道場自然館

報 告道場行事

創立50周年記念演武大会

合気道川越道場 島田 五郎

六月一七日（日）、合気道道主植芝守央先生のご来臨を得て、川越市立城南中学校の武道場においてこの大会を開催しました。

ここに至るまでには、先代植芝吉祥丸道主そして植芝守央道主をはじめ、本部道場の先生方や多くの方々のご支援、ご指導をいただ



きました。心から感謝申し上げます。

大会は道場演武から始まりました。まず川越道場の門下生が教員としての勤務の傍ら育成してきた狭山ヶ丘高校合気道部の若々しい演武、そして川越道場の少年部と一般部、友好道場八団体の演武がこれに続き、小学生から、そして和歌山県から駆け付けて下さった竹豊館長の竹中日出雄先生まで総勢百名のメンバーが、植芝道主の見守る中で演武をしました。

次いで、植芝道主から稽古指導を受けました。会場が広くないのが幸いして、先生が参加者の中に割って入って、ひとりひとりの手を取って指導をしてくださり、この幸せを肌で感じた次第です。先

生に直接指導していただいた学生たちは、飛び跳ねて喜んでおりました。先生から入身と転換、基本技との関連などについてもくわしく解説していただき大変勉強になりました。

稽古は、植芝道主の気力溢れる美しい演武で締めくくられました。立技、座技、半身半立技、太刀取りなど次々に繰り広げる道主の演武を目の前で見ることができて、道主と受けの先生との衣擦れの音さえ聞こえ、鳥肌が立つほど感動しました。

その後、川越道場に場を移して、直会（懇親会）になりました。道場の正面には、合気道開祖植芝盛平翁直筆の掛軸「武神」が掲げてあります。これを見て、合気道の伝統の深さを感じたことと思います。

植芝道主のお祝いのお言葉、川越道場長のお礼のあいさつに続いて歓談に入りました。この中で、川越道場の会員は「おもてなし」の役をつとめながら、各道場の方々の交流を深めました。

直会には最少の費用で最高（？）の味を並べようと工夫を重ねましたが至りませんでした。しかし、



食膳に並んだ川越道場伝統の「芋煮」は朝から薪で炊いて五時間も煮込んだもので、とても喜ばれました。

道主の廻りに参加道場の方々の輪ができて、会話がはずんだ愉快的な直会でした。

追記

合気道川越道場は、合気道の魅力にとりつかれた道場長が、地元で毎日稽古ができるようにとの思いから、本部道場のお許しを得て開設したものです。

町道場として、「一隅を照らす」存在でありたいと願っております。

創立45周年

入間幸武館道場 関戸 章弘

光陰矢の如しとはよく言ったものです。今、振り返って見れば走馬灯の如く月日が過ぎ、懐古してみたいと思います。

幸武館道場は、昭和七年に当地域の農家組合の共同稚蚕飼育所として建設された建物です。当時この地域では養蚕業が盛んでした。

昭和四七年に当地区の武道愛好家の熱心な後援により武道専用道



場として改造されました。総坪数九〇余坪あり、当初の屋根は瓦葺きで合ったため、耐震を考慮して、平成一二年にトタン張り工事が実施され現在に至っています。

幸武館道場の名の由来は、中島正吉館長の御尊父で中島幸太郎氏（故人）の「幸」をいただいたもので、発足以来、剣道部、居合道部が稽古に励み、昭和四八年六月より合気道部がスタートしました。

当初、当地域では合気道はあまり知られておらず、是非一度見せてくれないかとの依頼があり、近くに住んでいた学生時代の後輩である田中君と向山君に来てもらい、板の間の上で演武をしました。当時は若かった事もあり、遠慮せず投げたものですから、観ていた人達から「痛そう」という声が聞こえてきました。

この演武を機に、幸武館での合気道部がスタートしたのでした。最初にした事は畳の手配からでし

た。近所の畳屋さんから古畳を譲ってもらい、稽古のたびに畳を敷き、終わっては道場の隅に積んで置くとの繰り返しでした。この間約三年は、現在の館内の約三分の一（四五畳）を合気道部専用道場として利用し、稽古しておりました。

設立当初は、合気道の普及と会員増強のために近隣の中学校へお願いをし、運動会の当日の昼休みの時間をもらい、校庭にビニールシー

トを敷き演武をやらせてもらっていました。また、毎年春と秋には「合気道体験教室」を開催しております。この秋で三八回を迎えました。



「合気道体験教室」を開催しております。この秋で三八回を迎えました。

試行錯誤しながら、楽しく、元気に、怪我をさせないことをモットーに精進していく覚悟しております。今後とも同門の諸先生、諸先輩方のご指導、ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

創設30周年記念行事開催

志木合気会 三輪 明

志木合気会は合気道自由が丘道

場で学ばれた故樋浦直久先生が合気道黎明道場の協賛道場として創設されてから三〇周年を迎えました。九月八日に記念行事を、①市民合気道大会②多田宏師範特別講習会③記念祝賀会の三部構成で

開催致しました。

①市民合気道大会では、香川武文 志木市長をはじめ市議会議員、市教育長、市体育協会会長、県議会議員の皆様のご臨席のもと、志木市合気道連盟として、演武会及び初心者講習会を実施しました。



スイス及びスロバキアからも演武参加いただき日頃の稽古の成果を十分に披露頂きました。

②多田宏師範特別講習会には合気道多田塾及び埼玉県合気道連盟の皆様にも参加いただき三七団体から約一六〇名が受講しました。呼吸法から始まり開祖植芝盛平先生直伝の技をご丁寧にご説明頂き、会場の関係上かかり稽古を主

体に行いました。多田宏先生の卒寿というご年齢を感じさせない気迫に満ちたご指導に、暑い中での稽古でしたが充実した時間を過ごせました。

③記念祝賀会では合気道道主植芝守央先生、合気会本部師範多田宏先生、東京都合気道連盟の藤城清次郎理事長をはじめ各団体・道場の皆様から創設者樋浦直久先生とのエピソードも織り混ぜながら心温まるお祝いの言葉をいただき、感謝の気持ちと同時に、受け継いできたものを守り発展させることへの使命を感じました。途中、会員によるハーブの演奏も披露頂き和やかな会となりました。また参加頂いた各道場の方々と広く交流できたことも良い機会でした。

周年行事は五年ごとに実施してありますが、不慣れなため反省点多々ありました。しかしプロジェクトチームで役割を分担し、特に今回は広いアリーナに畳を敷いて会場を設営し、当日朝からレンタル畳を運び込みセッティング、翌日朝には撤収と会員の皆さんにはご負担を掛けました。また記念に残す写真、ビデオの撮影には従来

より力を入れました。集合写真撮影時は正座でお待ち頂く時間が長引き、参加の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが立派な写真も撮れました。

お陰をもちまして盛会のうちに記念行事をとおこりなく相済ませることができ会員一同心から感謝申し上げます。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

20周年行事

この会が横内敏幸代表を中心に活動を開始したのは、平成一〇年四月で、今年が二〇年の節目となります。

そこで、第一部「二〇周年記念講習会」、第二部「二〇周年記念体験教室・演武会」の記念行事を計画し、実施しました。

第一部「二〇周年記念講習会」は、平成三〇年九月二十四日(月・振替休日)に無事終了しました。

この講習会には、当会の創設時から今日までご指導いただいている公



日高市合気道同好会

加藤 孝義

益財団法人合気会鳥海幸一師範を講師としてお招きし、また創設時から友好関係にある東村山市合気道会からも四名の会員が参加され、大会が大いに盛り上がりました。講習会では、講師から徒手技と武器技を関連させながら種々の技をご指導いただき、大変充実した内容の講習会となりました。

第二部「二〇周年記念体験教室・演武会」は、平成三〇年十一月二十五日(日)に実施し五〇名もの参加者があり、真剣に、又懇親会では、和

気あいあいと交流し合う記念行事となりました。

体験教室には、一五名ほどの参加があり、合気道が今人気のある武道の一つであり、体験してみたい人が多いことを実感しました。一〜二の内容でした。

一、準備運動 二、体験教室

演武会では、一〜六の日常の稽古風景を大切にした取り組みが展開され、緊張の中にも充実した時間を持



つこともできました。

一、小学生と一般会員の稽古

二、大人会員(有段者)自由演武

三、中・高・大人団体演武

四、小学生演武

五、大人会員(有段者)自由演武

六、会代表演武

次の三つの目標は、この会が創設時から目指してきたものです。

①無理なく安全…ケガをしない。ケガをさせない。誰にも仕事がある、学校がある、家庭がある。このことをお互いに認め合って稽古をしたい。

②分かりやすく面白い…強いが強くないか、利くか利かないか、上手か上手でないかよりも、面白さを大切にしたい。工夫する楽しさを知り、生涯楽しめる武道でありたい。

③社会体育…いつからでも、幾つになっても。

子どもも大人も、女性も男性もなく、一緒に稽古できる場でありたい。本会が、長きにわたって活動を続けることができたのは、公益財団法人合気会をはじめ、友好団体の方々からの格別なご指導、ご支援のためものと、厚く御礼申し上げます。「二〇周年記念行事報告」とさせていただきます。

第6回さいたま市合気道市民大会

さいたま市合気道連盟理事長 尾又 富士雄

平成三〇年一月四日(日) 大宮武道館にて連盟加盟の九団体、一三五名の参加で、さいたま市合気道市民大会を開催しました。

第一部は講習会として「テーマ絶対にぶつからない」隅落とし「四



種」を講習させていただきました。動きは少なめですが大汗をかきながら取り組んでいる皆様の真剣さに胸を打たれました。

第二部は演武会として各道場による演武を披露いただきました。各道場の特徴が表現され大変盛り上がりしました。

又、さいたま市体育協会専務理事の村山和弘様を来賓としてお迎えしご挨拶を賜り、最後まで御観覧いただきました。ありがとうございました。

さいたま市合気道連盟は、浦和市連盟と大宮市連盟が合併された平成十五年の翌年に発足しました。発足にあたりご尽力された先生方のおかげで、今年九団体になるまで増えました。この記事をご覧になった、さいたま市の団体で加盟希望があれば随時受付けております。

今後は埼玉県連盟と協力し、同連盟の更なる発展を目指してまいりますので、今後とも宜しくお祈り致します。

道場紹介

新郷合気会 大久保 章

新郷合気会は、平成一四年（二〇〇二年）二月一日に発足し、当時本部道場師範であられた藤田昌武先生のご指導の下、（財）合気会の支部道場として登録させて頂きました。また、全日本合気道演

武大会にも参加させて頂き、それ以降毎年参加させて頂いております。埼玉県合気道連盟には、平成二三年に加盟させて頂き、合同講習会など県連行事に積極的に参加させて頂いております。また、他の道場の道友達との交流も積極的にいきなり、合気の探求のみならず親睦も深めてまいり



たいと考えております。当会の稽古は、川口市立榛松中学校の柔道場をお借りして、毎週月・木曜日と毎月奇数週の日曜日に行っております。現在の会員は、小学生から七〇代までの老若男女が和気

藹と稽古に励んでおります。会員数が多くないために、当会では「少年部」を設けることができないので、怪我防止の観点から、小学生の会員は原則保護者と一緒に稽古をすることとしております。年間の主な活動としては、「全日本合気道演武大会」参加はもとより、三月と九月の「昇段・級審査」、八



月の「合宿稽古」、七月の「初心者合気道教室」などがあります。夏の合宿稽古は、毎年茨城県ひたちなか市の阿字ヶ浦の自然に恵まれた環境の中で会員は楽しみに恵まれたのびと稽古を行っております。そして、合宿稽古の帰りに、岩間の「合気神社参拝」が恒例となっており、翌日からの稽古を気持ちを引き締めて行っております。普段の稽古では、準備運動の一環として、合気剣や合気

き、新たにホームページを作成しております。昨今、「武道」を積極的に学びたいという若者が少ないようですが、若者に限らず武道の良さ・合気道の奥深さを広く多くの人々に知ってもらうために、常に真摯に稽古を重ねながら、少しでも関心のある人々にはこちらからも積極的に働きかけていきたいと考えております。今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

杖の型、及び組剣や組杖も取り入れて行っております。剣や杖を扱うことは、捌きや間合いの取り方にとっても参考になり、幅広い対応力を養うのに適していると考えているからです。もちろん、徒手の稽古でも入り身・転換・体捌きなどの基本動作を大切に行っており、基本に基づいた上で応用技や護身術として有効な技なども実践しております。当会では、他の道場のホームページを参考にさせて頂

一期一会

ICHIGO-ICHI E

合気道との出会い

合気道川島町同好会 サマンピア・チャミンダ



私の合気道との出会いは運命的でした……。2002年にスリランカから日本に留学して4年が過ぎ、それまで暮らしていた川崎で喘息になってしまった私は、医師から埼玉へ転居を勧められ、空気や環境に恵まれた川島町のアパートへ妻と引っ越ししました。当時周囲には知り合いもなく、私の様に海外から来て川島で生活する外国人は少なかった頃です。そんな中アパートの前に一軒家が新築され、そこをご老人からいつもにこにこ優しく声をかけられるようになりました。周りに身寄りもなく知り合いも少なかった私達は、その方と言葉を交わすのが楽しみになりました。その方が大谷先生です。ある日「一度奥さんと一緒に家においで」と声をかけられ、ご自宅にお邪魔させて頂きました。

大谷先生のお話は、ご自身の戦争体験ばかりでしたが、それからというもの、毎日のようにお邪魔するようになり、たまに行かないと電話で呼び出されたりしました。妻と群馬に二泊三日で旅行に出かけた時は、戻って来てお目にかかると「顔を見せないから、何度もアパートを見に行き、何かあったのかと大家に電話するところだった」と言われました。

お話は、戦争や無事に帰国するまでの話が主でしたが、ある日、敗戦後の生活から合気道を始められ、今は川島町で教えられていると伺い、日本の武道に興味がありスリランカでも空手を習っていた私は、合気道がどんな武道なのかよく分からないまま話を伺っているうちに興味が湧いてきました。先生から勧められ見学するようになり、トレーニングウェアで見学していると「見ていないで、もう一緒に稽古をしなさい」と半ば命令口調で言われ、その日のうちに稽古を始めることになりました。

2011年の夏は、スリランカの夏と違いとても蒸

し暑く、空調のない道場での稽古は私にとってはとても大変なものでした。そんな時大谷先生は「暑い夏や寒い冬に稽古を始めた人は、途中で投げ出したりはせず決してやめないよ」と言われました。その言葉を受け、私も合気道の稽古は決して辞めずに続けようと心に刻みました。先生から入り身、転換、受け身などと言われても、スリランカから来た私にはその日本語の意味が分からず、先生にそう伝えたところ「言葉はいいから体で覚える」と言われました。最初は何度教わっても上手くできませんでした。特に前受け身は自分の背が高いせいか、最初はとても怖く恐怖心が先立ちましたが、だんだんと慣れてきました。2011年の11月に、大谷先生に五級の審査をして頂きました。先生は、「稽古で怪我をしない、また相手に怪我をさせてはならない」と口酸っぱく言われました。合気道の技で私が好きな技は、相手を引き出して技をかける小手返しです。2018年1月に大澤師範の審査を受けて初段を頂き、黒帯を締めて袴を穿いた時は、大谷先生との出会いを思い出さずにはいられませんでした。仕事で土日稽古に出られない時もありますが、できる限り稽古し、更に上を目指したいと思います。少しでも上達して技のレベルが上がれば上がるほど、合気道は楽しくできるものと思います。日本に来て早一六年が経ち、仕事や私生活でも色々な人にお世話になっており、これからも稽古を通じて争わず相手に寄り添う合気道の精神を育み、今後も人との繋がりを大切にし、日本での永住を果たしたいと思います。

(注記)

大谷先生：大谷一枝師範

合気道川島町同好会創設者 第20回日本武道協議会 武道功労賞受賞、2013年5月5日没

大澤師範：大澤勇人師範

合気道本部道場指導部師範

彩のなでしこ

N A D E S H I K O



私と合気道

合気道修練道場自然館 延寿寺恭子

私が合気道を始めたのは17年前の小学3年生の時です。父と母が自分の身を守れるように何か武道を習わせたいと思ったことがきっかけです。武道の中でも試合がなく相手と争わない、相手のことを思いやる合気道がよいのではないかということで、姉と一緒に家から近いところにある自然館に入門することになりました。

そこで出会ったのが吾妻正義先生です。少年部では先生は合気道の技以上に挨拶や靴の脱ぎ方などを厳しく指導して下さいました。また、相手に怪我をさせることがないよう相手のことを重んじることの大切さも教えて下さり、日々の稽古で礼儀や作法も自然と身につけていきました。

高校生になってからは一般の部で稽古をするようになりました。少年部との雰囲気の違いに戸惑ってしまい、大人の中で稽古をしていくことに最初は不安がありましたが、どんな時も優しく丁寧に教えて下さる先生や先輩方のおかげで続けていくことができました。習う技の種類も沢山増えていき、その頃から

合気道の奥深さを知り、知れば知るほど稽古が益々楽しく感じられるようになりました。

大学生の頃には防衛省の夏季合宿訓練に参加し、そこで審査を受け初段を頂きました。袴をはいてからは特に受け身の上達を意識して稽古するようになり、今では先生の演武の受けを取らせて頂くこともあります。受けを取るたびに反省点や課題が見つかりますが、その気づきを大切にしながら稽古に励んでいます。

昨年からは先生が県連事務局の広報も担当され、私はその広報の仕事の補佐をさせて頂くことになりました。微力ながら精一杯お仕事をさせて頂きますので、今後皆様のご指導を賜りますよう宜しくお願い致します。

今年は社会人になって3年目ですが、仕事と稽古をうまく両立させて、次の段目指して益々稽古に精進して参りたいと思います。

※このコーナーでは県内の女性合気道家をご紹介します。
自薦・他薦を問いませんので各道場よりご応募をお待ちしております。

2019年 埼玉県合気道連盟主催行事参加に関する重要なお知らせ

平成30年6月の総会で連盟規約の改定があり、2019年から加盟道場は埼玉県合気道連盟主催の会議および行事に各1回以上の参加が義務付けられました。各道場の年間稽古スケジュールに組み込み、参加をお願い致します。

会議予定

- 定例理事会
日 時：2019年4月14日(日)
午後3時30分～午後5時00分
場 所：さいたま市民会館うらわ 503/505 集会室
懇親会：旬彩「赤松」ロイヤルパインズホテル浦和5階
会 費：5,000円
- 定期総会
日 時：2019年6月2日(日)
午後4時00分～午後5時00分
場 所：With You さいたま(予定)

行事予定

- 第34回少年少女錬成大会
日 時：2019年4月21日(日)
午後1時30分～午後4時00分
場 所：志木市民体育館 武道場
- 第37回埼玉県合気道大会(講習会)
日 時：2019年7月7日(日)
午後2時00分～午後4時00分
場 所：入間市武道館(予定)
- 第2回埼玉県武道祭
日 時：2019年12月7日(土) 予定
場 所：県立武道館